

- 「公衆衛生ウインターセミナー2024(PHWS)」専攻医の皆さんへのメッセージ
- 「第44回医療情報学連合大会(第25回日本医療情報学会学術大会)」のご報告
- 「第72回日本職業・災害医学会学術大会」のご報告
- 「第35回日本疫学会学術総会」のご報告
- 「第109次日本法医学会学術全国集会」のご案内
- 「第29回日本医療情報学会春季学術大会(シンポジウム2025 in 仙台)」のご案内
- 「第57回日本医学教育学会大会」のご案内
- 社会医学系専門医制度 講習会情報
- 事務局からのお知らせ

## 公衆衛生ウインターセミナー2024 (PHWS) 専攻医の皆さんへのメッセージ



社会医学専門医協会 顧問  
曾根 智史  
(国立保健医療科学院 院長)

努力をするのは当たり前、という前提で、その他にキャリア形成のために重要なものには、本人の能力・適性に加えて、職場や家族など周囲の状況があります。年齢やタイミングも現実的には重要な要素です。さらに重要なのは、適切な情報と人とのつながりであり、自分の人生を振り返っても、「緩やかなつながり (weak ties)」が重要な意味を持ったことは一度や二度ではありません。一緒に仕事をしたことがある、学会で食事をしながら話をした、外来講師で来ていただいたときにアテンドした、などのつながりがそれにあたります。若い方には、そのような経験を積極的に幅広く積むことをお勧めします。

公衆衛生医師は、行政官にせよ、研究者にせよ、組織の中で働く組織人です。仕組み(システム)の中で働くからこそ、一人では決してできないことができるようになり、大きな達成感が得られます。より多くの人々に健康になっていただくための仕事は大きな価値があると思います。

公衆衛生は、法律・制度・リソースなどシステムを整えることで社会を変えることができる分野です。英国のジョン・スノーの昔から、根本原因がわからなくても対処できる、対処しなければならないという特徴を持ち、多様な価値観や方法論を取り入れることができる、とてもおもしろい分野です。ぜひこの分野でキャリアを積んでいただければと思います。

## 学会開催のご報告

## 第 44 回医療情報学連合大会（第 25 回日本医療情報学会学術大会）の報告



第 44 回医療情報学連合大会  
（第 25 回日本医療情報学会学術大会）

大会長 中島 直樹  
（九州大学大学院医学研究院医療情報学講座 教授）

第 44 回医療情報学連合大会（第 25 回日本医療情報学会学術大会）を、九州大学の主催で、2024 年 11 月 21 日から 24 日の 4 日間、福岡国際会議場・福岡サンパレスで開催いたしました。団塊の世代が後期高齢者となる「2025 年問題」を目前に控え、激化する健康医療 DX の国際競争に対応するため、「デジタルヘルスの新未来」をテーマに掲げ、準備をいたしました。

本大会では大規模言語モデル LLM や生成 AI に関する発表が目立ちました。特別講演 1 では、喜連川優氏（情報システム研究機構長）が国立情報学研究所の「LLM-jp-3 172B」について講演されました。また特別講演 2 では、台湾医療情報学会会長で Medinfo2025 大会長の Mark (Ming-Chin) Lin 氏が

「Transforming Medical Research and Clinical Practice with AI: From Randomized Control Trials to Large Language Models」と題して講演されました。さらに日本医療情報学会代表理事の小笠原克彦氏（北海道大学）による学会長講演では、「AI 時代における医療情報学の役割」をテーマに、医療情報の質やリアルワールドデータの利活用について講演をされました。その他にも、LLM や AI に関する国内外の取り組みが急増している現状が明らかになりました。さらには画像生成 AI についても多くの発表があり、AI 実装時代の到来を実感いたしました。

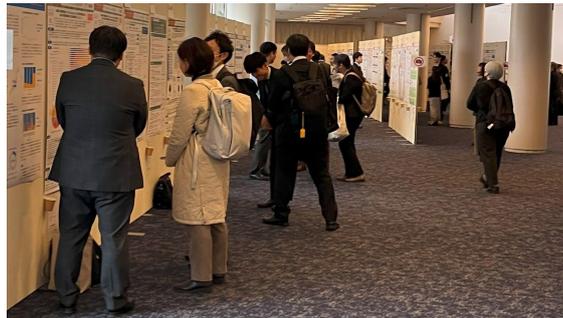
一方、デジタルヘルスの具体的な運用についても活発な議論が行われました。特別講演 3 では、David Kerr 氏（Sutter Health 社）が「Challenges and Solutions for Digital Health using Diabetes as a Model disease」と題し、糖尿病におけるデジタルヘルスの活用状況と進化について講演されました。その他のデジタルヘルスに関する発表でも、電子カルテ、遠隔医療、PHR、AI、治療アプリなどのデジタルヘルスが患者や市民を中心に進化していく近未来の健康・医療社会を垣間みることができました。

さらには、従来通り医療情報学に真剣に取り組む多くの発表と活発な質疑も行われ、ロビーのあちらこちらで楽しく議論する様子も見受けられました。

参加者は 3800 名を超え、演題数も過去最多となり、盛会のうちに終了しました。講演、発表、参加をいただいた皆様、協賛企業、大会運営を支えていただいた皆様に心より感謝申し上げます。

なお、第 29 回日本医療情報学会春季学術大会（大佐賀敦大会長（東北医科薬科大学））が 2025 年 7 月 3 日から 5 日まで仙台国際センターにて開催されます。また、第 45 回医療情報学連合大会（第 26 回日本

医療情報学会学術大会、山下芳範大会長（福井大学）は、同年 11 月 12 日から 15 日にアクリエひめじで開催されます。皆様奮ってご参加ください。



## 第 72 回日本職業・災害医学会学術大会を終えて

第 72 回日本職業・災害医学会学術大会  
大会長 恩田 秀寿  
(昭和大学医学部眼科学講座 主任教授)

第 72 回日本職業・災害医学会学術大会を 2024 年 11 月 23 日（土）および 24 日（日）に東京都品川区の昭和大学上條記念館にて開催いたしました。両日とも晴天に恵まれ、参加者の方々には足元を気にされることなくお越しになられたことと安堵しております。

昭和大学の主催は本大会で 5 回目となり、眼科は過去に深道義尚先生（40 回）、小出良平先生（59 回）が大会長を務められております。第 72 回大会では、これまでの経験から学んできたことを再確認し、より強固な医療体制を構築するために「災害に強い医療体制の構築へ～その時何をすべきか」をメインテーマといたしました。2024 年は年初から能登半島地震などの大規模災害があったため、大規模災害時医療をディスカッションする大会の必要性を改めて痛感いたしました。

本学会には多くの診療科と職種の方々が集まるため、医療系総合大学である昭和大学の特徴を活かしたプログラムを作るべく、学内にプログラム委員会を立ち上げ、様々な分野の発表や討論ができるように検討いたしました。さらに今回、眼科疾患にも着目し、順天堂大学先任准教授の平塚義宗先生より「一生役に立つ目の知識～職業災害に使える実践的ノウハウ～」、産業医科大学准教授の永田竜朗先生より「医療従事者の放射線被曝と放射線白内障」の教育講演をいただきました。またシンポジウム「職業性眼障害のマネジメント」を企画し、情報機器作業者の健康管理（永田竜朗先生：産業医大）、デジタル機器使用による内斜視（木崎順一郎先生：昭和大）、就労とロービジョン（平野彩先生：昭和大）について討論いたしました。フィナーレで私が「外傷性視機能障害の診断と最新の治療」を講演させていただきました。

東京都眼科医会をはじめ、多くの企業団体から協賛をいただき御礼申し上げます。2 日間で 700 人以上の参加者があり、懇親会で親睦を深めることができ、無事大会を終えることができました。

第72回  
**日本職業・災害医学会学術大会**  
災害に強い医療体制の構築へ  
その時何をすべきか

会期 2024年11月23日(土)~24日(日)  
会場 昭和大学 上條記念館 (東京都品川区旗の台)  
会長 恩田 秀寿 (昭和大学医学部眼科学講座 主任教授)

**【主催事務局】**  
昭和大学医学部眼科学講座  
〒142-8555 東京都品川区旗の台1-5-8

**【運営事務局】**  
株式会社プロコムインターナショナル  
〒125-0063 東京都江東区有明3-4-11 11Fビル東館9F  
E-mail : jsom72@procom.jp

**演題募集期間**  
2024年5月23日(木)~7月23日(火)

**事前参加登録期間**  
2024年9月3日(火)~11月24日(日)

<https://procomu.jp/jsomi72/>



## 第 35 回日本疫学会学術総会 開催報告



第 35 回日本疫学会学術総会  
 会長 安田 誠史  
 (高知大学医学部公衆衛生学教室 教授)

日本疫学会学術総会としては四国地域での初開催となった第 35 回学術総会 (ホームページ <https://procomu.jp/jea2025/>) を、2025 年 2 月 12-14 日に、高知市文化プラザかるぽーとで開催させていただきました。1 日目に日本疫学会学術委員会疫学教育推進 WG が統括したプレセミナーを、2-3 日目に学術総会長が統括した行事を配置しました。プレセミナーを含めると約 1240 名がご参加になり、うち約 60 名 (留学生を含む) は東南アジア諸国を中心とする海外からのご参加でした。

本学術総会のテーマは「レガシーに立脚する疫学研究のインベーション」でした。日本には高水準の成果発信の実績を有する疫学研究のレガシーがあります。レガシーからの学びがイノベーティブな成果を発信する礎となり、日本の疫学研究力の劣化に歯止めをかけることを願い設定したテーマです。

メインシンポジウム「日本の大規模コホート研究の歩みと展望」では、日本を代表する 5 つの大規模コホート研究 (エコチル調査、JPHC Study、J-MICC Study、JAGES、東北メディカル・メガバンク計画) の統括研究者から、各コホート構築の経緯、そして今後の研究基盤維持と成果の社会還元をめざす上で重要となる観点をご報告いただきました。

特別講演「遺伝統計学の世界へようこそ」では遺伝統計学領域の教育と研究で優れた実績をお持ちの若手研究者に、遺伝統計学領域の研究テーマと研究手法のこれまでの流れと今後の展望を、疫学研究との連携という観点を交えてご解説いただきました。

シンポジウムは 6 本で、うち 4 本 (「疫学研究と臨床を含む現場との連携」、「疫学研究と地域・社会への実装」、「デジタルヘルスを活用したヘルスケアの社会実装—成果と課題— (AMED 協賛シンポジウム)」、「疫学と法律—疫学は法規制や訴訟にどう貢献できるか」) が研究成果の社会実装に関するテーマでした。シンポジウムの他のテーマは、「わが国の地域出生コホートの現況と今後の展望」と

「International Trends in Epidemiological Research toward Planetary Health」でした。研究方法に関するテーマは、1 日目に 4 本が配置されたプレセミナーで取り上げられました。

審査を経て採択された一般演題は、口演 50 題 (うち英語は 13 題) と示説 304 題 (うち英語は 49 題)、併せて 354 題でした。口演演題のうち 4 題に優秀演題賞が、7 題にトラベルグラントが授与されました。

会場での発表と討議を通し、参加者に、レガシーから学び、自身の研究活動からイノベーティブな成果を発信して社会貢献をめざすという気概を高めていただくことができましたと思います。

なお、主要行事（社会医学系専門医指導医講習会を含む）は5月15日までオンデマンド配信されます。



学術総会事務局メンバー



メインシンポジウム総合討論

### 学会開催のご案内

第 109 次日本法医学会学術全国集会

ホームページ <https://www.jslm109.org/>



会 期 2025 年 6 月 11 日(水)～13 日(金)

会 場 久留米シティプラザ (〒830-0031 福岡県久留米市六ツ門町 8-1)

会 長 神田 芳郎(久留米大学医学部法医学講座 教授)

事 務 局 久留米大学医学部法医学講座  
〒830-0011 福岡県久留米市旭町 67 TEL:0942-31-7554

運営事務局 株式会社 JTB コミュニケーションデザイン 事業共創部内  
〒810-0072 福岡市中央区長浜 1-1-35 新 KBC ビル 4F  
TEL:092-751-3244 FAX:092-751-3250 E-mail:jslm109@jtbcom.co.jp

(スパムメール防止のため、メールアドレスの”@”は画像となっております。送信の際は”@”を直接入力してください。)

第 29 回日本医療情報学会春季学術大会（シンポジウム 2025 in 仙台）

 ホームページ <https://jami2025symp.org/>


## 医療現場を支え続ける情報システム

～これまでも、これからも～


 2025 **7/3** (木) Thu ▶ **5** (土) Sat 現地開催会場  
 仙台国際センター + Web開催

大会長

**大佐賀 敦**
 東北医科薬科大学医学部  
 医療情報学教室

プログラム委員長

**土井 俊祐**
 千葉大学医学部附属病院  
 病院長企画室

実行委員長

**坂本 博**
 東北大学  
 東北メディカル・メガバンク機構  
 脳画像調査室

- 会 期 2025 年 7 月 3 日(木)～5 日(土)
- 会 場 仙台国際センター 展示棟（〒980-0856 仙台市青葉区青葉山無番地）・  
 仙台緑採館（〒980-0863 仙台市青葉区川内追廻無番）  
 + Web 開催（会場Live配信）
- テ ー マ 医療現場を支え続ける情報システム ～これまでも、これからも～
- 大会長 大佐賀 敦（東北医科薬科大学医学部 医療情報学教室 教授）
- 大会事務局 東北大学東北メディカルメガバンク機構脳画像調査室  
 〒980-8573 仙台市青葉区星陵町2-1 メガバンク棟 643  
 E-mail: 29office-tohoku735@jami2025symp.org
- 運営事務局 株式会社 JTB コミュニケーションデザイン 事業共創部 コンベンション第二事業局  
 〒105-8335 東京都港区芝 3-23-1 セレスティン芝三井ビルディング 12 階  
 E-mail: 29office-jcd@jami2025symp.org

（スパムメール防止のため、メールアドレスの”@”は画像となっております。送信の際は”@”を直接入力してください。）

## 第 57 回日本医学教育学会大会

大会ホームページ <https://www.congre.co.jp/jsme57/index.html>


The 57th Annual Meeting of the Japan Society for Medical Education

# 第57回 日本医学教育学会大会 in AKITA

次世代の医学・医療を拓く  
デジタル教育の新たなステージへ  
— All for Patients, All Together —  
理想的なチームビルディングを目指して！

2025  
7/25(金) 26(土) 27(日)  
24(木) — プレコンgresプログラム

【会場】〈第一会場〉あきた芸術劇場ミルハス 〈第二会場〉秋田市文化創造館  
〈第三会場〉にぎわい交流館 AU  
(秋田県(東口)から徒歩約7-8分、海沿い歩道は、早朝に工事あり(予定))

【開催形式】対面＋一部オンデマンド配信

演題募集  
期間 ● 会議シンポジウム・ワークショップ受付期間  
2024年11月6日(水)～18日(木)  
● 一般演題(優秀発表セッションを含む)受付期間  
2025年1月29日(水)～3月19日(水)

大会会長 羽瀧 友則 (秋田大学医学部長、大学院医学系研究科長)  
実行委員長 長谷川 仁志 (秋田大学大学院 医学教育学講座 教授、総合臨床教育研修センター長)

共 催 秋田大学医学部・秋田大学看護学協議会  
協賛 秋田大学大学院 医学教育学講座  
協賛 株式会社コングレ東北支社 TEL: (022) 723-3211  
FAX: (022) 723-3210 E-Mail: [jsme57@congre.co.jp](mailto:jsme57@congre.co.jp)

<https://www.congre.co.jp/jsme57/>

この度、秋田市で第 57 回医学教育学会大会が開催されることとなりました。本学会は卒前・卒後・生涯教育における医療者教育の学術的発展を目指し、毎年開催されています。ここ数年で参加者や応募演題数が増加し注目度が高まっています。本大会から会期を 3 日に延長し、招請講演、シンポジウム、ワークショップ、口演・ポスター発表など計 100 以上のセッションを行う予定です。少子高齢化などの社会変化の中で、患者さんの健康で豊かな生活を守るため、医療者教育に何ができるかという視点に立ち、多岐にわたるテーマを扱う予定です。また、医療安全、地域医療、医療情報の分野の専門家の招聘講演や、本大会から新たに始まる欧州医学教育学会 (AMEE) との連携企画など魅力的な企画を多数準備しております。

医学教育学は学問分野としては社会医学系に分類され、社会医学系専門医の皆様におかれましても貴重な機会となるかと存じます。ぜひ振るってご参加いただけますようお願い致します。

会 期 2025 年 7 月 25 日(金)～ 27 日(日) (24 日(木)プレコンgresプログラムを開催)

会 場 <第一会場>あきた芸術劇場ミルハス (〒010-0875 秋田県秋田市千秋明德町 2-52)  
<第二会場>秋田市文化創造館 (〒010-0875 秋田県秋田市千秋明德町 3-16)  
<第三会場>にぎわい交流館 AU (〒010-0001 秋田県秋田市中通 1 丁目 4-1)

開催形式 現地開催 後日オンデマンド配信(予定)

テ ー マ 次世代の医学・医療を拓くデジタル教育の新たなステージへ  
— All for Patients, All Together — 理想的なチームビルディングを目指して！

大会長 羽瀧 友則(秋田大学医学部長、大学院医学系研究科長)

実行委員長 長谷川 仁志(秋田大学大学院 医学教育学講座 教授、総合臨床教育研修センター長)

大会事務局 秋田大学大学院 医学教育学講座  
〒010-8543 秋田市本道一丁目 1 の 1 電話/FAX 018-884-6226

運営事務局 株式会社コングレ 東北支社

E-mail: [jsme57@congre.co.jp](mailto:jsme57@congre.co.jp) TEL: 022-723-3211  
(スパムメール防止のため、メールアドレスの"@"は画像となっております。送信の際は"@"を直接入力してください。)

## 社会医学系専門医制度 講習会情報

社会医学系専門医に関する説明会や講習会の予定をご案内いたします。お申し込み等の詳細につきましては、下記ホームページをご参照ください。

一般社団法人 社会医学系専門医協会 HP <http://shakai-senmon-i.umin.jp/seminar/>

### 開催予定の講習会

(スパムメール防止のため、問合せ先メールアドレスの”@”は画像となっております。送信の際は”@”を直接入力してください。)

#### 【2025年6月】

学会名	第64回総会日本消化器がん検診学会
タイトル	教育講演 5(社会医学セミナー)医学研究と利益相反
日時	2025年6月28日(土)13:10~14:10
場所	アートホテル旭川
問合せ先	yabe@jsgcs.or.jp
単位数	共通講習【医療倫理】K-1単位

#### 【2025年5月】

学会名	日本産業衛生学会
タイトル	社会医学系専門医制度指導医講習会
日時	2025年5月15日(木)17:15~18:15
場所	東北大学百周年記念会館 川内萩ホール【第5会場】
問合せ先	第98回日本産業衛生学会 運営事務局 sanei98@jtbcom.co.jp
単位数	指導医講習 1単位

学会名	第98回日本産業衛生学会
タイトル	第98回日本産業衛生学会 社会医学系専門医必修プログラム 人類とパンデミック:賢者は歴史に学ぶ
日時	2025年5月14日(水)9:30~12:30
場所	仙台国際センター
問合せ先	sanei98@jtbcom.co.jp
単位数	共通講習【感染対策】K-3単位

学会名	第98回日本産業衛生学会
タイトル	第98回日本産業衛生学会 社会医学系専門医必修プログラム 医療倫理
日時	2025年5月14日(水)9:30~12:30
場所	仙台国際センター
問合せ先	sanei98@jtbc.com.co.jp
単位数	共通講習【医療倫理】K-3単位

学会名	第98回日本産業衛生学会
タイトル	第98回日本産業衛生学会 社会医学系専門医必修プログラム 医療安全のABC
日時	2025年5月14日(水)9:30~12:30
場所	仙台国際センター
問合せ先	sanei98@jtbc.com.co.jp
単位数	共通講習【医療安全】K-3単位

## 社会医学系専門医協会事務局からのお知らせ

### 【専門医・指導医更新のご提出いただきありがとうございました】

2024年11月30日をもちまして、本年度の更新申請の受付を終了いたしました。

本年度更新申請対象者で更新申請をいただいていない場合、

当会HPにて更新延長届をダウンロードいただき、必要事項をご記入の上、ご提出をお願いいたします。

<http://shakai-senmon-i.umin.jp/koushin/>

### 【登録情報の変更、請求書再送、領収書発行のご依頼について】

所属先のご異動・お住いのお引越し・メールアドレスの変更等がございましたら、会員マイページよりご変更ください。

下記URL 上部 「会員マイページログイン」 のバナーより会員専用ページにアクセスいただくことが可能です。

<http://shakai-senmon-i.umin.jp/specialist/memberpage/>

会員専用ページへのログインにはログインID(会員番号)/パスワードが必要となります。

パスワードがご不明な場合は、「パスワード問い合わせ」からお問合せください。

ログインID(会員番号)は、年間登録料の請求書摘要欄に記載がございます。

上記ご不明な場合は、下記の要領にて協会事務局(jbphsm@asas-mail.jp)までご連絡ください。

件名：社会医学系専門医協会：ログインID照会(会員ページログインのため)

①氏名

②ご所属先

③生年月日(19XX/●●/△△)

年間登録料領収書の発行をご希望の際は下記記載事項をご記載の上、ご自身にてご作成の上、「切手貼付の返信用封筒」を同封の上、事務局までお送りください。

押印の上、ご返送いたします。

**【記載事項】**

- ・ 会員様のお名前
- ・ 会員番号
- ・ お支払いいただいた金額
- ・ 何年度分の年会費

※年間登録料につきましては不課税となっております。

※請求書：お送りしております払込票付請求書とは別の請求書（所定のもの、口座記載のもの、公印押印済のもの等）が必要な場合は上記内容をご記載の上、ご依頼ください。

**【変更届送付先・請求書、領収書発行依頼先】**

社会医学系専門医協会 事務局

E-mail : [jbphsm@asas-mail.jp](mailto:jbphsm@asas-mail.jp)

FAX : 03-5981-6012

（スパムメール防止のため、依頼先メールアドレスの”@”は画像となっております。送信の際は”@”を直接入力してください。）